

5 学校・学級経営分野の課題把握と解決のために

I 学校・学級経営の深化・充実			
課題 1	<p>確かな経営理念の確立と、 家庭や地域と連携した確かな学びを創る特色ある教育課程の創造と推進</p>		
	<p>1 学校の教育目標の達成に向け、児童生徒の確かな学びを創る経営の創造と推進 2 へき地三特性（へき地性、小規模性、複式形態／以下「三特性」）を生かし、地域に根差した、特色ある教育課程の創造と推進 3 児童一人一人の個性や能力を生かし、多様な体験を重視した教育活動の充実</p>		
1 課題把握のために	<p>へき地・小規模・複式学級を有する学校（以下「へき・複・小規模校」）では、基礎的・基本的な知識や技能の習得に向けた確かな学びを創るために、学校のもつ三特性を自校の教育活動の中に積極的に生かし、家庭や地域と密接な連携を図り、教育活動を推進していくことが求められている。さらにその三特性を生かすため、学校・学級経営の構造を明確化して、特色ある教育の実践を進めることが必要である。</p> <p>また、「生きる力」を育成する教育理念を実現するために、「へき地に教育の原点がある」という言葉の意味することを踏まえつつ、これまでのへき地・複式教育が積み上げてきた実績を反映させた積極的な研究・実践が重要である。</p> <p>したがって、各学校においては、各教科の指導や言語活動、伝統や文化に関する教育、総合的な学習の時間等を充実させ、児童生徒一人一人の個性や能力に応じた学習指導を展開し、教職員が協働して確かな学びを創るための特色ある教育活動の充実を図ることが必要である。</p>		
2 課題解決のために	<p>研究の視点</p>	<p>具体的方策</p>	<p>研究内容</p>
	<p>1 学校の教育目標の達成に向け、児童生徒の確かな学びを創る経営の創造と推進</p> <p>2 へき地三特性を生かし、地域に根差した、特色ある教育課程の創造と推進</p> <p>3 児童生徒一人一人の個性や能力を生かし、多様な体験を重視した教育活動の充実</p>	<p>(1) 学校の教育目標の具現化に向け、児童生徒に基礎的・基本的な知識や技能の習得と活用を図るための創造的な経営計画の作成と実践研究に努める。</p> <p>(1) 学校や地域の特性を生かし、児童生徒一人一人の思考力・判断力・表現力等を育む教育課程の編成とその実践に努める。 (2) 家庭や地域と連携・協働する開かれた教育課程の編成とその実践に努める。</p> <p>(1) 学年や個人差に配慮し、個性を生かす教育活動の充実に努める。 (2) 地域の自然や生涯学習関連施設の活用、地域の人材との交流を取り入れ、児童生徒の興味・関心を高め、学習意欲の向上を図った教育課程の編成とその実践に努める。 (3) 小規模・少人数の利点を生かした合同学習、集合学習、交流学習の充実に努める。 (4) 教師力の向上を目指す校内研修の充実に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画 ・全体構造図 ・学校評価 ・教育課程編成計画 ・年間指導計画 ・学級経営計画 ・合同学習、集合学習、交流学习 ・学校間交流 ・地域素材・人材の活用 ・言語活動 ・伝統や文化に関する教育 ・9年間を見通した教育課程 ・校内研修 ・コミュニティ・スクール ・アクティブ・ラーニング

I 学校・学級経営の深化・充実		
課題	ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進	
	1 ふるさとへの愛着と誇りの育成を図る学校・学級経営の創造 2 新しい時代を、国際感覚豊かにたくましく生きる力を育成する経営の創造 3 異校種間との交流・連携等を通じた豊かな教育の推進	
1 課題把握のために	<p>へき・複・小規模校では、生涯学習の基礎を培うという観点から、変化の激しい社会を主体的に切り拓き、心豊かにたくましく生きる力をもった児童生徒を育てていくことが求められている。</p> <p>また、国際色豊かな新しい時代の中で、自己を確立し心豊かにたくましく生きていくためには、ふるさとで育ってきた自分を意識し、ふるさとに誇りをもつことが重要である。</p> <p>したがって、各学校においては、家庭・地域との連携を強化し、家庭・地域の教育力を積極的に活用することにより、ふるさとへの関心を高めるとともに、新しい時代に対応した教育を充実させた経営を創造することが必要である。</p>	
2 課題解決のために	研究の視点	具体的方策
	1 ふるさとへの愛着と誇りの育成を図る学校・学級経営の創造 2 新しい時代を国際感覚豊かにたくましく生きる力を育成する経営の創造 3 異校種間との交流・連携等を通じた豊かな教育の推進	(1) 地域の自然や文化、歴史、産業、人材等地域の教育力を活用した教育活動を充実させ、ふるさと学習等を通じて、ふるさとを愛する心、ふるさとの発展に尽くそうという心等のふるさとを思う心を育てる指導に努める。 (1) 環境や食育、安全、防災への関心を高め、自ら意欲的に課題を解決する教育の創造に努める。 (2) 情報化に対応し、情報モラル等の育成も含めた情報活用能力の育成に努める。 (3) 外国語や外国の文化などに親しむ教育の創造とその計画化に努める。 (1) 三特性を踏まえた近隣校及び異校種間連携等、社会の変化に対応できる開かれた教育課程の編成及び実施に努める。 (2) 幼・保・小・中・高一貫教育の推進・充実に努める。

I 学校・学級経営の深化・充実			
課題 3	地域に根差し、家庭や地域と連携して豊かな心を育む教育活動の創造と推進		
	1 地域との連携を密にし、豊かな心を育む教育の創造 2 伝統と文化を継承・発展させ、個性豊かな文化を創る教育の推進 3 人間尊重の精神に基づいた、教育の指導計画の充実と教育活動の推進		
1 課題把握のために	<p>へき・複・小規模校では、「地域が学校や児童生徒を育てる」といった特質が存在し、家庭や地域が一体となった教育が行われている。学校には、家庭や地域と連携し、心豊かな児童生徒の育成を推進していくことが求められている。</p> <p>そのため、地域の特性や環境を生かした教育課程を編成・実施し、児童生徒一人一人の個性や能力に応じた教育活動を、各教科・道徳、特別活動等の関連を図りながら計画的に実践していくことを通じて、豊かな心を育成していくことが重要である。</p> <p>また、各学校においては、地域と一体となった主体的な活動を通じて、人間尊重の精神を高め、郷土理解を深め、社会性を培う教育活動の充実を図ることが必要である。</p>		
2 課題解決のために	研究の視点	具体的方策	研究内容
	1 地域との連携を密にし、豊かな心を育む教育の創造	(1) 家庭や地域と連携し、自然や歴史風土、伝統文化、人材等、多様な教育資源を活用し、豊かな心を育成する指導計画の工夫に努める。 (2) 家庭や地域の教育力を積極的に活用し、児童生徒に育むべき力や、地域のもつ課題等への関わりをもたせるような学習内容を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育 ・教育資源 ・家庭地域の教育力 ・地域の課題
	2 伝統と文化を継承・発展させ、個性豊かな文化を創る教育の推進	(1) 家庭や地域との連携を図りながら、豊かな体験活動（集団宿泊、職場体験、奉仕体験、自然体験、文化芸術体験など）を充実させ、道徳性や望ましい勤労観・職業観の育成に努める。 (2) 児童生徒が、身近な人々との交流や体験から、豊かに学び地域に関わろうとする実践的な態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種体験活動 ・キャリア教育、進路指導 ・ボランティア活動
3 人間尊重の精神に基づいた教育の指導計画の充実と教育活動の推進	(1) 地域と一体となった主体的な活動を通じて、人権教育や福祉教育についての理解と実践の充実に努める。 (2) 特別支援教育についての理解と実践の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育、福祉教育 ・特別支援教育 	

6 学習指導分野の課題把握と解決のために

II 学習指導の深化・充実			
課題	個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価の改善と充実		
	4	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的・基本的な内容の定着と，個性を生かした指導計画の作成や実践の充実 2 地域の教育資源を生かし，主体的・対話的で深く学ぶ指導計画の作成や実践の充実 3 わかる喜びを味わわせる指導方法や指導体制，評価の工夫と改善 	
1 課題把握のために	<p>へき・複・小規模校では，各教科の目標や特性を踏まえつつ，指導すべき内容を重点化し，児童生徒一人一人が意欲的に学習に取り組みながら，基礎的・基本的な内容を確実に定着させる指導計画を作成することが大切である。</p> <p>そのためには，学校をとりまく豊かな自然や地域性などの教育環境を効果的に活用しながら，児童生徒一人一人の知的好奇心や探究心を喚起し，自ら考え主体的に課題を解決しようとする学習活動を展開していくことが必要である。</p> <p>さらに，児童生徒一人一人に「わかる喜び」を味わわせるために，少人数ならではのよさが生きる指導方法や指導体制，評価の工夫と改善を図りながら，「何ができるようになったか」を教職員全体で共有し，一人一人の学びの力を育てていくことが重要である。</p>		
2 課題解決のために	研究の視点	具体的方策	研究内容
	1 基礎的・基本的な内容の定着と個性を生かした指導計画の作成や実践の充実	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的・基本的な内容を確実に定着させるために，内容を重点化した指導計画や指導方法の工夫・改善を図る。 (2) 一人一人の習熟度や興味・関心に応じた補足的な学習，発展的な学習，選択履修等，個に応じた学習の実践化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導 ・基礎基本の確実な定着 ・習熟度別指導 ・補足的な学習 ・発展的な学習 ・選択履修
	2 地域の教育資源を生かし，主体的・対話的で深く学ぶ指導計画の作成や実践の充実	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教科の目標や内容を踏まえながら，身近にある地域素材を教材化したり，地域人材を活用したりすることにより，指導計画の改善・充実を図り，主体的・対話的で深い学びにつなげる。 (2) 地域の「ひと・もの・こと・自然」を生かし，地域から学び，地域に発信していく主体性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域素材の教材化 ・地域人材の活用 ・ふるさと学習 ・体験的な学習 ・カリキュラム・マネジメント
3 わかる喜びを味わわせる指導方法や指導体制，評価の工夫と改善	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年差や個人差を考慮した指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。 (2) 目標と指導，評価の一体化を図るとともに，評価方法を工夫し改善に生かす。 (3) 「何ができるようになったか」を教職員全体で共有し，一人一人の成長を多面的・多角的に見とり，認め励ます支援的な内容を含む評価の改善・充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学び ・T Tの活用 ・特別支援体制 ・入門期の指導 ・学年別指導，同内容指導，類似内容指導 ・指導と評価の一体化 ・評価規準の明確化 ・自己評価と相互評価の工夫 ・評価内容，評価方法，時期等の工夫 	

II 学習指導の深化・充実		
課題 5	学ぶ意欲を高める指導方法の改善と充実	
	1 学ぶ楽しさや成就感を体感できる，へき地・複式教育の特性を生かした指導方法の改善と充実 2 学習効果を高める個別化・集団化などの指導方法の改善と充実 3 地域や家庭との連携を深め，児童生徒の学びを豊かにする学習内容及び指導方法の改善と充実	
1 課題把握のために	<p>へき・複・小規模校では，身近な題材をもとに児童生徒が五感をフルに使って多様に感じたり考えたりする力を育てるとともに，少人数の特性を生かして「確かな学力」を身に付けていくことが大切である。</p> <p>そのためには，体験的な学習活動を多く取り入れ，実際に体感させたり活動させたりすることを通して児童生徒一人一人に学ぶ楽しさや成就感を味わせるとともに，個々が学び方を身に付けるような指導方法の工夫・改善を図ることが必要である。</p> <p>さらに，小規模・少人数だからできる学習内容の個別化や，小規模・少人数では支障が生じる学習内容の集団化を図るなど，柔軟且つ多様な指導方法を工夫しながら，児童生徒の「自ら学び自ら考える力」を育てていくことが重要である。</p> <p>また，地域からの学びを積極的に推進するには，地域や家庭の教育力を大いに活用して，児童生徒が身近な人々との交流や体験から豊かに学び，地域に主体的に関わろうとする意欲的な態度を育てる指導方法を工夫することが重要である。</p>	
2 課題解決のために	研究の視点	具体的方策
	1 学ぶ楽しさや成就感を体感できる，へき地・複式教育の特性を生かした指導方法の改善と充実 2 学習効果を高める個別化・集団化などの指導方法の改善と充実 3 地域や家庭との連携を深め，児童生徒の学びを豊かにする学習内容及び指導方法の改善と充実	(1) 地域の「ひと・もの・こと・自然」を生かす体験的な学習等，小規模・少人数の利点を生かしたきめ細かな学習活動と「確かな学力」を身に付けさせる指導方法の改善と充実を図る。 (2) ICT機器も含めた教材・教具・教育機器等を効果的に活用し学習を進めることのできる指導方法の改善と充実を図る。 (3) 言語を用いて思考・判断・表現する言語活動を重視した授業実践等，一人一人が学ぶ楽しさや成就感を味わい，主体的な学び方を身に付ける指導方法の改善と充実を図る。 (1) 学校や児童生徒の実態，学習内容などを考慮した個別化・集団化の改善と充実を図る。 (2) 児童生徒一人一人の個に応じた指導方法の改善と充実を図る。 (1) 家庭や地域の教育力を積極的に活用し地域の魅力に関心をもつ学習内容の充実を図る。 (2) 家庭や地域と連携し，学びを豊かにする指導方法の改善と工夫を図る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・教育機器の活用 ・ICTの活用 ・情報教育 ・地域素材の教材化 ・教材の開発と資料の活用 ・体験的な学習 ・言語活動の充実 ・指導と評価の一体化 ・主体的・対話的で深い学び <ul style="list-style-type: none"> ・個別化，集団化 ・ノート指導 ・学習リーダー ・学習習慣と学習規律 ・合同学習，集合学習，交流学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー ・地域の教育的課題 ・地域の教育活動 ・ボランティア活動

II 学習指導の深化・充実			
課題 6	主体性を育てる学習指導過程の改善と充実		
	1 主体的・対話的で深い学びの視点からの、児童生徒一人一人の多様な考え方や学年差・個人差に即した学習指導過程の改善と充実 2 教科の特質に応じた問題解決的な学習指導過程の改善と充実 3 地域内外の異校種間連携や交流学習等による新たな学習指導過程の改善と充実		
1 課題把握のために	<p>へき・複・小規模校では、児童生徒が自分らしさを発揮しながら、課題意識をもって主体的・対話的で深い学びになるように指導過程を改善・充実していくことが大切である。</p> <p>そのためには一人一人の能力や適性に応じたきめ細やかな学習指導を行い、学年差・個人差に配慮する必要がある。また、間接指導場面においても、相互に学び合い、高め合う学習指導過程の在り方を追求しながら、児童生徒の実態に即した学習を展開していく必要がある。</p> <p>さらに、これまで典型化・定型化されてきた「複式四段階」の学習指導過程を基本としながらも、柔軟で弾力的な学習指導を行い、児童生徒が「自ら学び、自ら考える力」を身に付けるように、教科の特質に応じた問題解決的な学習を取り入れた学習指導過程の改善と充実を図ることが必要である。</p> <p>また、幼・保・小・中・高の異校種間連携や、市町村の枠を越えた学習には、これまでの既成概念にはとらわれない弾力的な運用と実態に即した教育課程の編成と実施が求められている。</p>		
2 課題解決のために	研究の視点	具体的方策	研究内容
	1 主体的・対話的で深い学びの視点から、児童生徒一人一人の多様な考え方や個人差・学年差に即した学習指導過程の改善と充実	(1) 自ら課題を把握し、学習への意欲や見通しをもって主体的に課題を解決していく力を育てる学習指導過程の改善・充実を図る。 (2) 主体的・対話的で深い学びとなる学習指導過程の改善と一人一人の能力に応じたきめ細かい指導の充実に努める。 (3) 間接指導場面でのリーダー学習（ガイド学習）等、少人数においても相互に学び合い、高め合う学習指導過程の在り方を追究する。 (4) 児童生徒一人一人の発達段階や、考え方、感じ方、表し方等、学年差や個人差に配慮した学習指導過程の改善と充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習 ・意欲をもたせる課題 ・主体的・対話的で深い学び ・リーダー学習 ・ガイド学習 ・学習形態の工夫 ・間接指導と直接指導のバランス ・同時間接、同時直接指導
	2 教科の特質に応じた問題解決的な学習の指導過程の改善と充実	(1) 教科等の特質や学習集団の実態を踏まえた「複式四段階」の学習指導過程の柔軟で弾力的な運用の在り方を工夫する。 (2) 「自ら学び、自ら考える」問題解決的な学習を通して課題解決に向かう学習指導過程の改善・充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・複式四段階の指導過程 ・問題解決的な学習 ・学習課題の工夫
3 地域内外の異校種間連携や交流学習等による新たな学習指導過程の改善と充実	(1) 地域の特性を生かしながら、単式校や教育研究組織との連携による学習内容の相互交流、幼・保・小・中・高の異校種間連携による系統的な学習内容の充実を図る。 (2) 小中併置校や市町村枠を越えた学校間連携など、小規模校のもつ特性を生かした学習指導過程の改善・充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・合同学習 ・集合学習 ・交流学習 ・学校間連携 ・異校種間連携 ・小中併置校の教育 ・キャリア教育 ・遠隔授業 	